

## 「吹田市市民公益活動審議会」令和7年度第2回会議 議事要録

開催日 令和8年(2026年)2月28日(土)午後2時~午後4時45分

場 所 市民公益活動センター ラコルタ 会議室

出席者

(1) 委員(敬称略。50音順)

市川 怜、岡本 光弘、木佐貫 麻美、坂本 治也、佐中 義定、太刀掛 俊之、  
茂上 さつき、矢野 弘典、山本 保治

(2) 事務局

市民自治推進室 森田室長、浅倉参事、大東主幹、鶴岡主査、渡邊主任  
市民公益活動センター(ラコルタ) 春貴センター長

傍聴者

6人

議題

- 1 市民公益活動促進補助金について
- 2 令和7年度吹田市市民公益活動促進補助金交付事業報告
- 3 その他

配付資料

吹田市市民公益活動審議会委員名簿

資料1「令和8年度吹田市市民公益活動促進補助金募集要項」

資料2「令和8年度市民公益活動促進補助金申請から交付決定までの日程(案)」

資料3「令和7年度吹田市市民公益活動促進補助金交付事業報告会プログラム」

事務局：本日は9名中9名の委員の方の全員の御出席をいただいております。成立要件を満たしております。

太刀掛会長：議事を進めたいと思います。本日の傍聴希望者はございますか。

事務局：本日の傍聴希望者はございません。

なお次第2の市民公益活動促進補助金の交付事業報告につきましては、団体や市民の方が自由に参加可能な報告会等を兼ねて実施させていただきますので、会場のスペースに余裕がある限り、傍聴可能とします。

太刀掛会長：次第の2につきましては、事務局の説明の通り、取り扱うこととします。

議題に入る前に事務局より委員の交代について報告を受けます。

事務局：櫻井和子委員が6月23日をもって退任され、後任として佐中義定様が7月7日付で委員になりました。また梅村賢作委員が7月7日をもって退任され、後任として岡本光弘様が7月18日付で委員になりました。従って、現在、審議会委員は10名の定員に対し9名となります。

太刀掛会長：それでは委員になられた佐中委員から一言御挨拶をお願いします。

佐中委員：～挨拶～

太刀掛会長：次に岡本委員一言御挨拶をお願いします。

岡本委員：～挨拶～

## 1 市民公益活動促進補助金について

事務局：資料1,2を使って説明

太刀掛会長：この件につきまして何か御質問はございますか。

坂本副会長：最低賃金の問題があるので、費目の名称について「人件費」を「ボランティア謝金」に変更頂きありがとうございました。

市民公益活動の定義について誤解されることが多いですが、無給のボランティアだけではなく、利益を分配しなければ給与が発生していても営利を目的としない団体といえます。この補助金制度は人件費を支援しないので、市民公益活動のうち「営利を目的としない」かつ「ボランティア活動」の部分が補助対象経費となることを明確にした方が実態に即しています。制度の趣旨に合った明確な定義に次年度以降に見直すことも必要と思います。

太刀掛会長：事務局で検討をお願いします。

申請期間について、令和7年度は15日まで、令和8年度は14日までと、1日短いですが何か理由はありますか。

事務局：14日までを標準にしており、曜日の関係で15日までとする年がありますが、来年は14日に設定しています。

太刀掛会長：14日が基本で理解しました。他よろしいですか。

太刀掛会長：もしないようでしたら、事務局から令和7年度の交付事業の活動の様子や、伴走支援をされていると思いますので、その内容等を御報告いただきます。

事務局：～報告～

太刀掛会長：ただいまの報告について何か御質問ございますか。何かあれば次第の2の方で直接団体の方に御質問いただければと思いますが、今何かコメント等があればお願いします。

坂本副会長：プロムナードウインドオーケストラは、関西大学の関係団体ですが、立場上、私も審査して大丈夫ですか。

事務局：応募団体の役員をされている方については全審査に参加しないという基準を設けていますが、何らかの関わりある方について、それだけでは制限していません。

坂本副会長：公平に審査いたします。

太刀掛会長：それでは次第の2事業報告について、休憩を挟み午後3時から再開します。

太刀掛会長：審議会を再開します。ただ今から、令和7年度吹田市市民公益活動促進補助金交付事業報告会を始めます。進行は、事務局をお願いしております。

事務局：司会進行

## Ⅰ NPO 法人 SecretBase バスケットボールアカデミー

～団体からの説明～

～質疑～

茂上委員：イベントの参加者に、団体の関係者以外の市民がいたかどうか。そして、事業の成果物としてあげている指導計画や指導フィードバック報告書を SNS やホームページで公開する予定時期を教えてください。

団体：一般参加者18名のうち5名が外部からで、4名ほどが学校の先生、残りが保護者です。フィードバックの掲載は、今現在行っている竹見台中学校の先生の指導終了後、まとめて上げる予定です。

茂上委員：クラブに関係されない指導に興味がある方にはアプローチできなかったのですか。

団体：一般参加者のうち保護者の方が、指導内容に興味を持ち、保護者自身も指導者の視点を学びたい意向で参加しました。将来的にコーチになるわけではないですが、前段階の理解を深めたい考えからの参加です。

茂上委員：報告は、ホームページ、SNSですか。

団体：SNS です。

茂上委員：ホームページは考えてないですか。

団体：今回の指導対象の年代の方は、ほとんどSNS経由でホームページからは少なく、SNSの方が効果は大きいと思っています。

太刀掛会長：課題の中で指導者の繋がりが少ない問題が挙げられていますが、他の地域の団体とも連携して課題解決や展望を考えているのかお聞かせください。

団体：吹田市外にも似た活動の団体が多くあり、頻繁に連絡を取っています。そうした団体と中学生の練習ゲームを行い、補助金の話をするなど情報共有を密に行っています。

## 2 一般社団法人HEART-LABO.

～団体からの説明～

～質疑～

坂本副会長：1回1,000円の参加費が広報のネックになっているとのことですが、無料にして後で会員やサポーターにしていく方法もあると思います。

団体：無料も検討しましたが、お金を払うことで参加者の意欲や価値が高まると思い、その対価として1,000円をいただいています。

坂本副会長：意図は理解しましたが、集客を考えるなら一度無料にして様子を見る考え方もあると思います。

木佐貫委員：概要の表現で「ビジョンマップを母親が作る」などの主語述語が曖昧なので、誰に参加してほしいのか、参加者がどうなってほしいのかをもっと明確に発信した方が良いでしょう。女性の時間不足を社会課題として認識されていれば、女性にどうなってほしいかを深掘するのも良いと感じます。

佐中委員：既に多くの団体が活動しており、無料のところも多いため1,000円設定が集客に影響しているかもしれません。人集めを強化し、料金設定も再考したほうが良いと感じました。

## 3 吹田の川をしらべ隊

～団体からの説明～

～質疑～

矢野委員：昨年の取り組みとの違い、2025年の変化について、川の状況や生息物の違いが分かれば教えてください。

団体：糸田川は水流が早く逃げ場があり、在来種が多いです。大正川はたまりがあって外来種が多いです。逃げ場を作ることが在来種保護に大事と分かってきました。鮎や鰻の目撃もあり、今年はそれをターゲットにして活動します。

矢野委員：在来種は確実に増えていますか。

団体：逃げ場がある場所に在来種は戻ってきます。維持すれば生態系の復活も期待できます。吹田の川はそうした可能性を秘めています。

矢野委員：情報発信が弱いと感じます。SNSやホームページで取り組みや変化をもっと見えやすくすれば、理解者や参加者も増えるはずなので、告知方法や参加の仕組みを整えてほしいです。

団体：団体の平均年齢が70歳で、発信できる人をスカウトしたいです。

茂上委員：賛同者の参加に課題があるとのことですが、賛同者とはガールスカウトなどの団体のことですか。

団体：一般市民です。案内しても来ないです。

茂上委員：大正川近くを日常的に通りますが、摂津市にデータ提供は考えていませんか。

団体：国交省、摂津市の環境担当部署と連携しています。

茂上委員：小学校の社会科の授業で使うことはないですか。絶対子供は好きだと思います。

団体：何度か話をしましたがなかなか進まないです。4月に再度働きかける予定です。

茂上委員：当日参加OKののぼりなどを用意してはいかがですか。

団体：活動には1人に対してスタッフが3人必要で保険もあるため大量参加が難しいです。

他のボランティアから呼ぶこともできますが、30人が限界です。

矢野委員：報告書には調査した内容を記載され、今日の報告ではそれ以外の活動についてもお話しいただきました。報償費2万円はイベントの講師に対する報償費ですか。

団体：そうです。講習会です。

矢野委員：報告書にも調査以外の活動や支出についても詳しく記載してほしいです。

#### 4 プロムナードウインドオーケストラ

～団体からの説明～

～質疑～

坂本副会長：補助金7万1千円のうち使ったのが4万2千円で、チラシ印刷費は使っていないのはもったいないので、広報にもう少しお金をかけてもよかったのではと思います。学生センターや地域連携センターに事前に相談し、広報を広げる工夫も欲しいです。

団体：今年は印刷会社勤務の団員の協賛でチラシを印刷できましたが、その方が退団したため、来年度以降は印刷費が必要になりそうです。広報の方法は今後勉強したいと思います。

木佐貫委員：アンケートで詳細な分析をしていて素晴らしいです。初めての人も参加しやすい工夫があり、午前中の縁日イベントなど双方向の楽しみが良かったと思います。定期開催をされればいいのではと思います。毎年恒例になれば、ポスティングも効果的だと思います。

団体：時期を毎年固定することで参加者を増やすことも視野に入りたいと思います。

茂上委員：イベントが楽しく若いパワーを感じました。世代間交流は難しい課題ですが、楽器作りなどで若者と子どもの交流はできていると思います。高齢者にお世話役として参加いただく方法もあるので、次年度検討してください。

団体：高齢者の主催側参加は考えていなかったので検討したいと思います。

事務局：ここで10分ほど休憩を挟みます。

事務局：時間になりましたのでこれより第2部を開催させていただきます。

#### 5 高野台キャンドルナイト実行委員会

～団体からの説明～

～質疑～

矢野委員：2、3年見てきて定着してきたと思いますが、地域の状況は変わってないですか。

団体：自治会のイベントにしたいわけではないので、協力を得るのが難しいです。お金は出すけど口も出すと言われるのは困るので、皆さんの意見を参考にしたいと思います。

矢野委員：地域の認知はあると思います。学校や公益団体に協力を得るには、自治会など地域団体と連携するのが大切で、単独では難しいです。子どもたちと繋がるためには具体的な目的で団体に協力をお願いするのが良いと思います。

団体：地域との繋がりを今後検討したいと思います。

市川委員：学生の参加は素晴らしいです。スポンサー集めが課題とありますが、どの方法で募集していますか。

団体：企業に直接訪問し、一口 3,000円で広告掲載を提案します。快く応じてくれた店舗もあれば、お断りされたこともありました。

市川委員：素晴らしい活動なので、背景や地域コミュニティとの関係性をもっと伝えて継続すれば「想い」に共感して支援してくれる人も増えると思います。

## 6 MOA美術館吹田市児童作品展実行委員会

～団体からの説明～

～質疑～

市川委員：見に来られる方と、今回の活動に関して手応えはどうでしたか。

団体：以前は応募者全員に案内しましたが、展示されていない子が悲しむこともあり受賞者の方だけに案内しています。今年は受賞者とその家族など約 1,100人が来場されました。

市川委員：アンケートでの声を子どもたちに届ける循環型の取り組みが素晴らしいと思います。

団体：同じ日にメイシアターで別のイベントもあり、受賞者以外の方も来て楽しんでいただきました。

茂上委員：大人数のボランティアや多くの作品数など、準備作業が大変だと思いますが、毎回受賞通知に保護者向けのボランティア募集案内を入れることをされていますか。

団体：去年からしています。

茂上委員：シニアスタッフも多く活躍されて、会場では子どもたちが誇らしげに写真を撮る姿が印象的でした。作品展示だけでなく、空き缶を使った一輪挿しの廃材を使った展示の隙間の使い方など、雰囲気づくりや細やかな配慮がとても素敵なイベントでした。

## 7 北摂多文化ネット

～団体からの説明～

～質疑～

太刀掛会長：「長く住まれている方の心理的不安」についての報告がありました。この点に関して、これまでの活動に加えて、新たな活動計画を立てる必要があるのか、それとも今の形で続けるのが良いかお聞かせください。

団体：補助金申請当初は主に外国人保護者の支援を想定していましたが、交流していく中

で、長く住んでいる外国人の方々が年齢を重ね、子どもも巣立ち、社会との繋がりが薄くなっていると分かりました。

私たちの団体は外国人と地域の方が共に活動し、共に暮らすことを目的としています。南千里を拠点としていますが、来年度は活動地域を広げ、JR側にも拡大します。

また、これまでインスタグラムで情報発信をしてきましたが、利用しない国の方もいるため、ホームページの作成や、中国出身のメンバーの協力を得て中国で使われている SNS でも発信できるように計画を変えていきたいと考えています。

事務局：以上で補助金の交付団体の事業報告はすべて終了しました。吹田市市民公益活動審議会会長の太刀掛様から総評をお願いしたいと思います。

太刀掛会長：団体の皆様には、丁寧に御報告をいただきありがとうございました。特に情報発信について、各団体、課題があるということで、それに対する工夫など、各団体の取組みを共有できたことがよかったと思います。また、活発な質疑応答もあり、本日の報告会は取組の公益性や意義を振り返るきっかけになったと思います。

今後、各団体の取組が継続的に発展するよう祈念します。

事務局：これをもって令和7年度市民公益活動促進補助金交付事業報告会を終了いたします。

太刀掛会長：市民公益活動審議会の皆様、以上をもって、本日の市民公益活動審議会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。